

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立三軒家西幼稚園学校協議会

1 総括についての評価

- 本年度の自己評価結果は概ね妥当である。
- 年度当初に掲げた各取り組み内容や指標を考慮しつつ、今年度の幼児の発達段階や実態を踏まえた教育活動を実践することができた。
- 就学前教育カリキュラムを活用しながら指導内容の工夫や充実を図った。
- 子どもが園生活を楽しみながら、しっかりとした教育が行われていることが分かった。
- 年々、園児数が減少している。地域の保育所とのかかわりももちながら、いろいろな人と触れ合う経験を積み重ねてほしい。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：【安心・安全な教育の推進】1-1

- 保護者アンケートで、「子どもの安全を考えた防災、減災・安全教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。
- ①非常変災時に備えて避難訓練を実施し、子どもの安全意識を高める。

○達成状況の評価については妥当である。避難訓練実施前に様々な災害を想定し、計画案は安全な避難経路になっているか職員間で話し合い、避難経路を確保し、迅速な避難へと繋がった。幼稚園の取り組みの中で、幼稚園と小学校が連携して合同避難訓練を行っていることは非常に大切である。この取り組みは、ぜひ地域の方やいろんな人に知ってほしい。

年度目標：【安心・安全な教育の推進】1-2

- 令和7年度の保護者アンケートで、「一人ひとりの子どもを大切にしたい教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。
- ①身近な人に、親しみをもってあいさつをする。
- ②身近な自然への興味や関心を高め、季節を感じられる遊びを存分に楽しむ。

○達成状況の評価については妥当である。子どもたちが親しみをもって挨拶をし、互に関われるようになるために、登園の様子や、子ども同士の関わる姿を教職員が観察し、取り組みに繋げることができた。

○年間計画に沿って、遊びを通して季節を感じられる環境作りに教師が常に目を向けることができた。ふれあい栽培を2回実施し、生長を観察したことで、小さな変化にも気づき、収穫する喜びを保護者と味わうことができた。

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】2-1

- 令和7年度の保護者アンケートで、「自分の好きな遊びを見つけ、のびのびと遊ぶことを楽しんでいますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。
- ①子どもが主体的に遊びを楽しめるような教師の教育的意図をもった働きかけや環境構成を工夫する。

②季節や時期に応じて、教師や友達と一緒に体を動かすことを楽しむ。

○達成状況の評価については妥当である。就学前教育カリキュラムを活用し、教育的意図をもった働きかけ、環境構成などを工夫することができた。

○暑さや気候を考慮しながら、園庭や空調設備がある遊戯室、小学校の校庭、園外保育など様々な場所で体を動かす機会をつくることができた。

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】 2-2

○令和7年度の保護者アンケートで、「自分の体の健康への興味・関心をもち、基本的な生活習慣が身についていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。

①子どもが自分の健康や食に興味や関心をもち、基本的な生活習慣を身につける。

○達成状況の評価については妥当である。子どもの実態に合わせた保健指導を月に1回行うことで、子どもが自分の健康や食に興味や関心をもちつことにつながった。

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】 3-1

○令和7年度の保護者アンケートで、「身近な地域の人たちや小学校などとの交流に、興味・関心をもち参加していますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。

①身近な地域の人たちや保育所・こども園・小学校・未就園児との交流活動を存分に楽しむ。

②絵本やお話にふれ、子どもたちの心を豊かに育てる。

○達成状況の評価については妥当である。近隣小学校で広い校庭を走ったり遊具で遊んだりすることで、小学校の先生に親しみをもち、1年生との関わりを通して進学への期待感が高まった。また近隣のこども園と、交流を重ね、親しみをもって関わった。

○未就園児交流活動（なかよしランド）を行うことで、未就園児と関わる姿が見られた。

3 今後の学校園の運営についての意見

- ・子どもたちが園生活を楽しめていることがよく分かった。その中にはしっかりとした教育が行われているということも最終評価から分かった。幼児教育の大切さがとてもよく分かった。
- ・幼小の連携について、幼稚園にとっても小学校にとってもプラスになることが多い。幼稚園は子どもの実態に合わせて様々な配慮が行われていることがよく分かった。また小学生にとっても、幼稚園児が来るときには「信じてゆだねる」ことで自覚が生まれた。お互いにいい関係性が生まれている。
- ・幼稚園の取り組みの中で、幼稚園と小学校が連携して合同避難訓練を行っていることは非常に大切である。この取り組みは、ぜひ地域の方やいろんな人に知ってほしい。
- ・家庭ではできない経験をたくさんさせてもらった。
- ・目の前の子どもたちに合った行事の内容、環境構成がされている。子どもたち一人一人に合った対応もされている。
- ・年々、園児数が減少している。地域の保育所とのかかわりももちながら、いろいろな人と触れ合う経験を積み重ねてほしい。
- ・引き続き、子どもたちが楽しんで通園できるよう、教員の資質を磨いていく。